

東北震災地の皆さん(陸前t高田の仮設お住まい)へ新米お届け 震災発生年から今年で3回



2011年(平成23年)10月22日 土曜日

育てた新米被災地に

那珂川のNPO 会員ら車で出発

那珂川のNPO法人「ながわ自然米会」が今年3月、遊休田の有効利用を検討中に震災が発生。急ぎ、被災地の支援のための米作りが始まったという。60歳以上の会員5人が中心となり、田植えから稲刈り、脱穀まで作業をした。昨年まで会員だった春日市の理容師春山紀雄さん(69)が4月下旬から100日ほど、陸前高田市で中泊しながらボランティアで散髪などの活動をしてきた。春山さんと橋本攻さん(68)ら3人が同市に米を届けることになった。橋本さんは「汗流して作った米を手渡せば激励の気持ちが伝わるはず」と笑って出発した。

那珂川町を出発するNPO法人の会員たち

